

反畑 誠一（たんばた・せいいち）先生

音楽評論家 立命館大学客員教授

音楽評論家。

立命館大学産業社会学部客員教授（本講座の他、
「企画研究」・専門特殊講義 SK「ポピュラー音楽論」を担当）
一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 特別顧問。
日本レコード大賞 常任実行委員・アルバム大賞審査委員。
毎日芸術賞推薦委員。駐日韓国大使館諮問委員会委員。
新聞コラム「ヒットの周辺」（京都新聞など 26 紙毎週掲載）、
コンサート評・ポピュラー音楽部門（「日本経済新聞」）など
多数執筆中。音楽情報番組「うたなび！」（京都放送など
12局ネット）のナビゲーターを務める。
アジア各国の音楽文化・産業の研究・分析も手掛ける。



〈講義概要〉

開講オリエンテーションは、立命館大学産業社会学部の長澤克重副学部長の挨拶から始まった。本講座が寄附により成り立っていること、また、第一線でご活躍中の素晴らしいゲスト講師のご講義を聴くことのできる貴重な機会であることを説明し、よく理解して勉強するようにと受講生を激励した。さらに、講義後の質問タイムも積極的に活用するよう言及した。

続いて、本講座のコーディネーターであり音楽評論家でもある立命館大学客員教授の反畑誠一氏が、本講座開講のために寄附を賜った4団体について紹介し、講座の成り立ちや概要、学習目標・課題についてガイダンスした。また、前期15回の講義内容の予習となる重要なキーワードやテーマについても紹介し、意欲的に学習するよう促した。

その後、本講座の学習の基本となる「著作権」に関する最新の情報やデジタル技術の進歩がもたらした「情報革命」について解説し、さらに、コンテンツ産業の概念とその新たな動向について分かりやすく説明した。

学生に幅広い視野からの見識を示すとともに、常に情報収集を行い知識を増やすことの大切さを訴えた。今後の貴重な講義を有意義なものにするため、学生は事前学習に取り組む意欲を示した。

〈受講生の感想〉

まだ著作権や音楽、業界の専門用語について知らないことの方が多いので、これからこの講義の中でたくさんの方の知識を深めていきたい。また様々な業界の有名な方々の話を聴くことができることは、とても素晴らしい機会だと思うので、自主的に質問をしたり話を聴きにいき、この講義でしかできないことを大切に学んでいきたい。

立命館大学・産業社会学部・2回生

私たちの生活の中で深く密接な音楽やコンテンツは、インターネットが普及し、誰でも手軽に入手できるようになったからこそ、勉強しなければいけないと思った。著作権やそれに関することについてもあらかじめ予習を行い、講師の方々のお話を聞いていきたいと思う。また、講師の方々のお話を無駄にしないためにも、フィードバックを行っていききたいと思う。

立命館大学・政策科学部・3回生

毎回お越しいただく講師の方々々が著名な方ばかりなので必ず参加したいです。講義が終わってからも講師の方とお話ができるということなので、この様な貴重な機会をいただけることに非常に感動しています。毎回の授業、とても楽しみにしています。

京都外国語大学・外国語学部・4回生

今日の音楽がデジタル化されたことにより著作権がより身近なものになり、そのための問題も多くなっているのに、私たちは知識、情報が少ないと感じました。違う視点から今のデジタルコンテンツを見ると、新たなデジタルコンテンツのすばらしさを発見できるのだと思い、これから広い視点で見ようと思いました。

同志社大学・生活科学部・3回生

様々な経験をした方々のお話を聞くことによって、自分の視野を広げることができるので、毎回の授業を大切に、しっかり取り組みたい。また、デジタル音楽史の中で、著作権というのが大きなキーワードになってくる。このキーワードが音楽史にどのような影響を与えたのか、しっかり学びたい。

立命館大学・産業社会学部・2回生

法学部なのでやはり著作権などの問題について詳しく学べたらいいなと思いました。デジタル化が進む今の時代の中で著作権の問題はとて大きいし新しく問題になっていることや訴訟などについてこの授業を通して検証していきたいです。

立命館大学・法学部・3回生

著作権の問題は憲法の授業の知的財産に関する法律のところで学びましたが、法的視点からでは著作権についてあまり身近な問題として感じる事ができませんでした。だからこの講義でもっと深く、もっと身近な視点から学びたいと思っています。

立命館大学・法学部・3回生

このオリエンテーションを聞いて「著作権」がこのデジタル文化にどのように関係しているのかをより詳しく知りたと思いました。また、この講義において多くの著名の方の意見を聞くことで自分の視野を広げたいと思います。

立命館大学・法学部・3回生

反畑先生の説明を聞いてこの授業には幅広い知識を有することが必要であるというのが一番強く思いました。業界の最前線で働いていらっしゃる先生方がどのような見解を持ち、私たちに伝えてくださるのか、そしてこの授業で学んだことが自身の学びに活かされ、どのように繋がっていくのか楽しみです。

立命館大学・産業社会学部・2回生

パソコンやテレビ、音楽の背景にある著作権の問題につちえ以前から興味があったが、自分から学ぶことがなかったので、この授業がよいきっかけになると思う。また、今日の授業でのデジタル関連の新しいワードや、デジタル文化・産業の著作物などをしっかり学んだ上で授業に臨むようにしたい。

立命館大学・産業社会学部・2回生

著名な先生方から聞いた内容を自分の中に吸収して、今後の学習に活かしたいと思います。ネットがより身近になった今こそ、著作権の意味をしっかり理解し、ボーダーラインを見極めなければならないと感じました。

立命館大学・映像学部・3回生